

お知らせ

INFORMATION

No.2022-31
2022 年 10 月
病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。

何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託項目】

◆ TFPI2（組織因子経路インヒビター2）〔16252〕

…検査実施施設 M

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2022 年 10 月 31 日（月）受付分より

【新規項目情報】

項目名称	TFPI2(組織因子経路インヒビター2) *1
コード	16252
検体材料	血清 0.3mL 専用容器(下記参照)
保存安定性	絶凍
検査方法	FEIA
基準値・単位	191 未満 pg/mL (卵巣明細胞癌の判別カットオフ値:270 未満 pg/mL)
所要日数	3～6 日
実施料(区分)	190 点(D009 23) *2
判定区分	144 点(生Ⅱ)
備考	*1:妊婦では、TFPI2 が高値となることが確認されているため、妊婦検体の測定には適しません。 *2:区分番号「D009」腫瘍マーカーの注1および注2の規定に準じます。

【専用容器】

75 TFPI2 専用容器	検体取り扱い方法
 採取量:5mL 内容:凝固促進剤 保存方法:室温 有効期限:容器に表示	必ず指定容器にて採血してください。採血後、5～6 回静かに転倒混和し、凝固完了を確認後、速やかに遠心機にかけ、そのまま凍結してご提出ください(採血管内での凝固反応が十分でない場合、TFPI2 が高値を示すことがあります)。

組織因子経路インヒビター2 (Tissue Factor Pathway Inhibitor 2: TFPI2) は、2021 年 4 月に新たに 保険収載された卵巣癌の診断補助マーカーです。

TFPI2 は胎盤タンパク質 5 (PP5) として知られており、特に周産期の胎盤から強く分泌されるセリン プロテアーゼインヒビターです。卵巣癌が分泌するタンパク質の網羅解析から、卵巣癌に特異的な マーカーとして注目され、明細胞癌において特徴的に分泌されることが明らかになっています。

卵巣明細胞癌は卵巣癌の組織型のなかでも抗癌剤が効きにくく予後不良であり、子宮内膜症が発生母地とされています。代表的な卵巣癌マーカーである CA125 は、卵巣明細胞癌では感度が低く、月経や腹膜炎、子宮内膜症を含む良性腫瘍でも上昇します。

TFPI2 は、健常人や良性腫瘍では上昇することの少ないマーカーです。CA125 との相関も見受けられないことから、両マーカーは卵巣癌の検出において補完関係にあると考えられます。さらに、卵巣癌のなかでも明細胞癌で有意に高値を示します。

TFPI2 を術前に測定することにより、卵巣明細胞癌疑いの推定が可能となり、CA125 などの既存の卵巣癌マーカーと組み合わせて評価することで、卵巣癌の診断性能が向上します。

参考文献： E テスト「TOSOH」Ⅱ (TFPI2) 試薬添付文書
大竹則久, 他：東ソー研究・技術報告 62：23-28, 2018

以上